

【特集2】

島津齊彬 生誕二〇〇年 齊彬と集成館事業

篤姫の養父としても知られる島津齊彬は、文化6（1809）年9月28日、薩摩藩主島津齊興の長男として誕生しました。集成館事業を興し、日本の近代化に力を尽くした島津齊彬。生誕二〇〇年の今年1月には「九州・山口の近代化産業遺産群」が世界遺産暫定リストに記載されました。その中に鹿児島島の旧集成館をはじめとする4つの遺産が含まれており、齊彬の功績が改めて脚光を浴びています。

薩摩から常に世界をみつめていた齊彬ゆかりの地を巡り、近代化への数々の功績に触れてみませんか。



尚古集成館蔵



尚古集成館別館の地下には、当時使われていた鍛冶場の遺構が残っています。

曾祖父重豪しげひでの影響を受け、海外的文化・情報に詳しくなった齊彬は、西欧列強のアジア進出を深刻に受け止め、日本を強く豊かな国にしなければならぬと考えていました。

嘉永4（1851）年、薩摩藩主に就任すると、鹿児島市の磯地区に近代的な工場群「集成館」を築き、軍備の近代化を目指す。紡績・ガラス・印刷などの産業の育成、電信・医薬・ガス・福祉などの社会基盤の整備まであらゆる事業を展開していきます。齊彬は、さまざまな産業を興し、日本を豊かにすることが、真に外国と肩を並べることだと考えていたのです。

齊彬は、当時日本を世界的な視野で見ることができた数少ない人物の1人でした。



旧集成館機械工場。アーチを取り入れた石造りの窓が特徴です。

島津斉彬の近代化遺産を歩く。

当時の人間関係など教科書には載っていない、ちょっとした裏話が聞けるのも、ガイドさんとのまち歩きの魅力。楽しく歴史を学べます。

コース行程

- 仙巖園入り口前(スタート)
- ↓
- 尚古集成館
- ↓
- 尚古集成館別館
- ↓
- 薩摩切子工場
- ↓
- 旧鹿児島紡績所技師館(異人館)
- ↓
- 造船所跡
- ↓
- 鹿児島紡績所跡
- ↓
- 仙巖園前(ゴール)



150年前に作られていた薩摩切子の復元品と、現代の新しい作品を見比べることができます。

観光ボランティアガイドの案内で、鹿児島市内の名所・旧跡などを巡る「鹿児島ぶらりまち歩き」。「世界遺産暫定リスト入り」の「篤姫養父」島津斉彬の近代化遺産を歩くコースは、直線距離で約1km、所要時間約1時間半で、世界遺産候補に登録された4つの遺産のうち、「旧集成館」「旧集成館機械工場」「旧鹿児島紡績所技師館」の3つを含む、磯地区を中心とした斉彬ゆかりの近代化遺産を巡ることができます。

<鹿児島ぶらりまち歩きの問い合わせ先>
 鹿児島まち歩き観光ステーション
 (開所時間:午前9時～午後6時)
 TEL 099(208)4701 / FAX 099(208)4703
 ホームページ <http://kagoshima-machiaruki.jp/>
 ●参加料/1人500円(高校生以上)
 ●お申込/前日の午後5時まで



観光ボランティアガイド 安楽 ミサ子さん

まち歩きで目を輝かせて話を聞いてくれる子どもたちの姿や、新しい発見をして喜んでくれる参加者を目にするのが嬉しいです。

普段は素通りしてしまうような場所に、こんな歴史があって、偉業が行われた所だったと発見できるのがまち歩きの魅力。もっと地元の方にもまち歩きに参加して、自分の住んでいる土地で実際にあった歴史的出来事や身近にある史跡の価値を知ってほしいと思います。

桜島と錦江湾を臨む美しい磯の風景を楽しみながら、斉彬の興した集成館事業の偉大さをぜひ感じてください。

イベント情報

島津斉彬生誕200年記念 オープニングコンサート

斉彬関係のパネル展示や、コンサートが行われます。
 ●日時:平成21年9月19日(土) 午後6時～
 ●場所:鹿児島中央駅(アミュプラザ広場)

島津斉彬生誕200年記念 「響彩時空」

太鼓踊り、山下洋輔ピアノコンサートなどが行われます。
 ●日時:平成21年9月22日(火・祝) 午後3時～午後8時30分
 ●場所:仙巖園

島津斉彬生誕200年記念シンポジウム

俳優 高橋英樹さんのトークショーやパネルディスカッションがあります。
 ●日時:平成21年9月27日(日) 午後1時30分～午後4時
 ●場所:鹿児島市宝山ホール(定員1500人) ※入場無料
 [申し込み先] 仙巖園事業企画室 〒892-0871 鹿児島市吉野町9700-1
 (往復ハガキ9月14日必着。応募多数の場合は抽選。)

そのほか 夜学塾、まち歩きガイドなどが開催されます。

各イベントの詳細は、「篤姫」観光キャンペーン公式ホームページ (<http://www.atshime.org>) からご覧いただけます。